

だより ぼかぼか3月号

6年生のみなさんもうすぐ卒業ですね！残り1か月、すてきな思い出を作ってください。

保健室1年のまとめ (4~2月集計)

1番多い月

内科 445人

6月

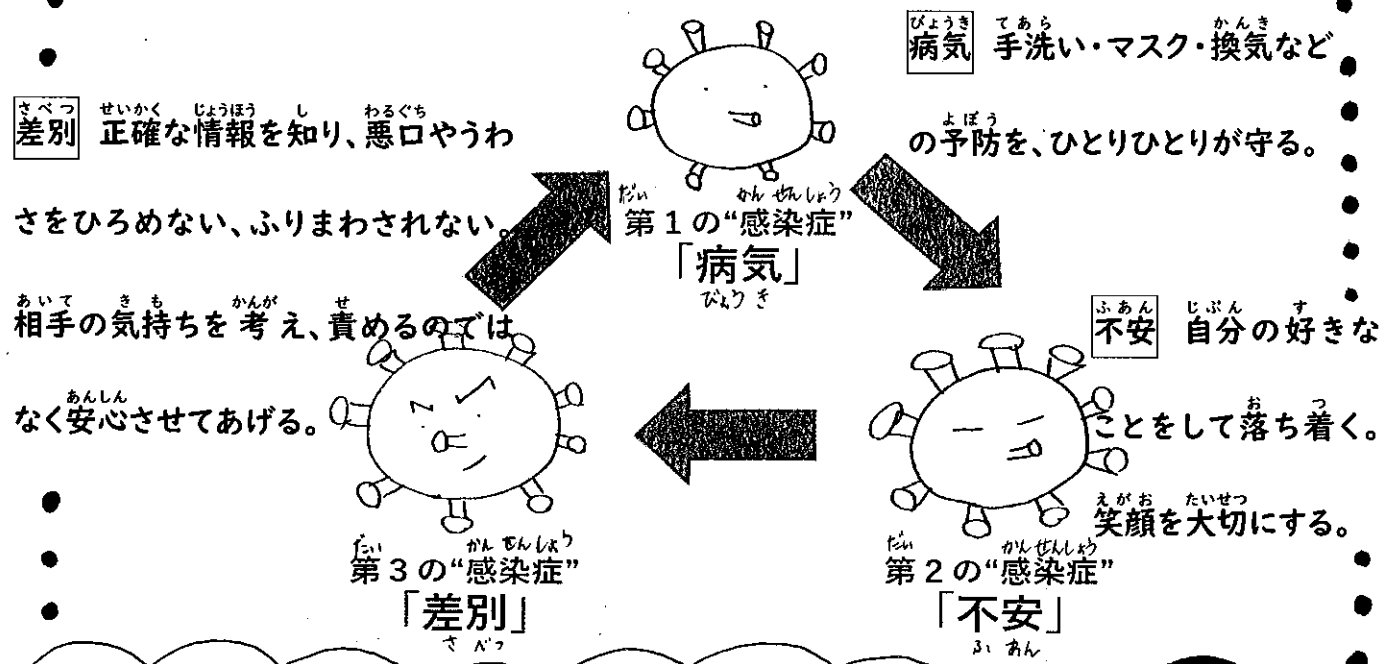
10月

外科 574人

休校が明け、久しぶりの学校生活に体や心が慣れず、不調をうたえる人がたくさんいました。マスクや手洗いなど新しい生活様式をとり入れることで、冬は欠席も少なくすぎています。これからも油断せず、みなさんの元気な笑顔がたくさんみられる翼小であってほしいです。6年生のみなさんが感染症についてたくさんの方の意見を出しおりました。

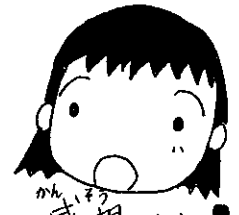
● 6年生いのちの学習 「あなたと大切な人のために」 ●

3つの感染症(病気・不安・差別)に対して何ができるのかを考えました



感染症は病気以外にも怖いものがある。だから自分ができる「日常を保つ」ということがあたりまえにできる日を守っていきたい。

● まよの感想より ●





1~5年生いのちの^{がくしゅう}学習の様子と感想



赤ちゃん人形はおもくてびっくりした。
お母さんがこんなにおもいのにがんばってそだててくれてありがとう。お父さんもみまもってくれてありがとう(2年)

280日もながいあいだ、おなかの中にいてすごいとおもった。だいじにしてくれてありがとう(1年)

改めて生まれた日の話をし、ありがとうという気持ちを子どもへ伝えることができた(保護者)

またぼくが生まれたときのおはなしをきかせてね。大すきだよ(1年)

1年:わたしのたんじょうび
2年:自分はっけん
3年:つながるいのち
4年:はばたこう!未来に向かって
5年:3億分の1の奇跡

たくさんの人からのいのちのバトンがあって、今のわたしがいる(3年)

大人になったら、両親のようにいろいろなことを子どもに教えられるようになりたい(4年)

毎日を大切に生きていきたい(3年)

なかなか家で話題に出さきっかけがないことを授業でやってくれることがありがたいです(保護者)

お母さんがぼくを産むときの苦しさ、生まれてきたうれしさを今まで知らなかった。でもこの授業でそのことを知って、母は強いなと思った(5年)

10年をふりかえって・・・(4年)
・お母さんが相談にのってくれた
・1年生の時6年生が手伝ってくれた
・友達がなわとびをたくさん教えてくれた
・お父さんにプログラミングを教えてもらう

自分たちは3億分の1の存在で、難関をクリアした奇跡的な存在なんだなと思った(5年)